

経営比較分析表

佐賀県 基山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	69.17	91.48

1か月20m³当たり家庭料金(円) 3,180

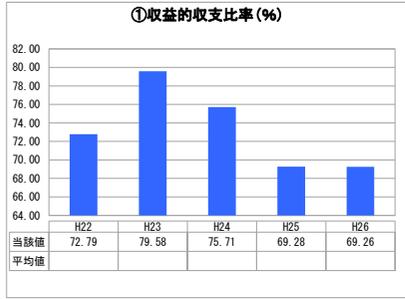
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,567	22.15	793.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,070	2.56	4,714.84

グラフ凡例

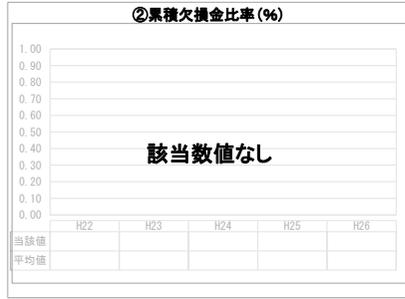
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成26年度全国平均

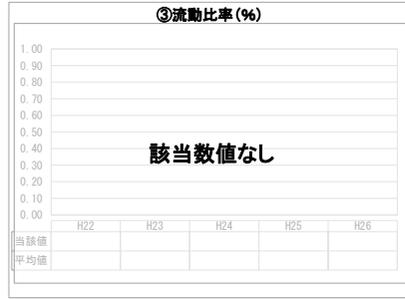
1. 経営の健全性・効率性



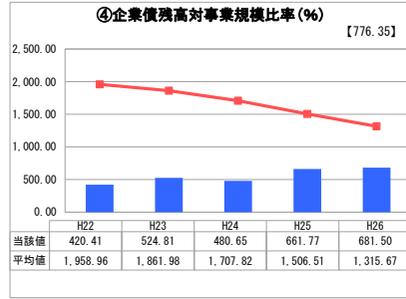
「単年度の収支」



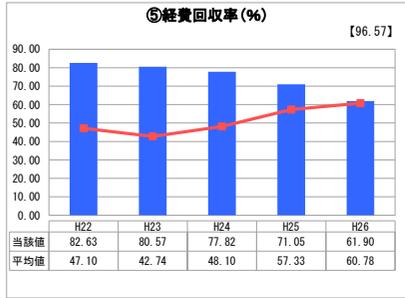
「累積欠損」



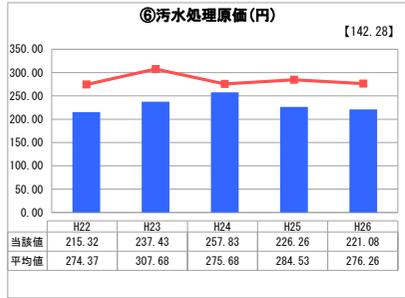
「支払能力」



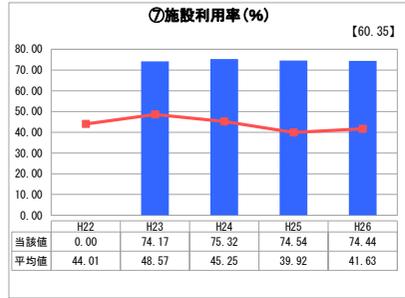
「債務残高」



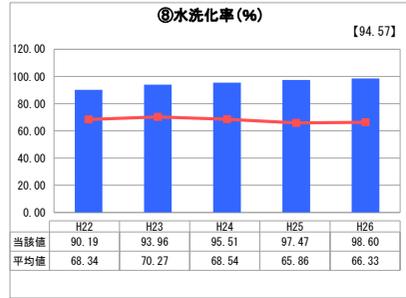
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

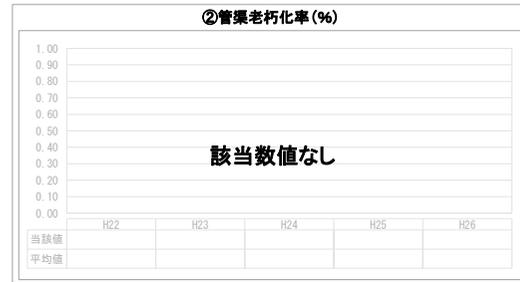


「使用料対象の捕捉」

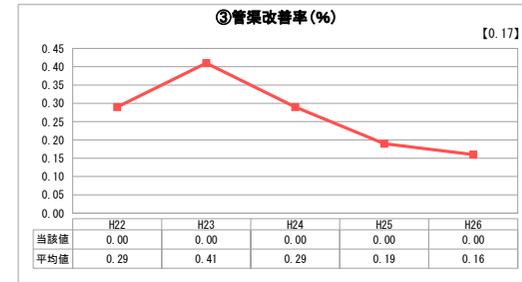
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、前年度と同水準であるが、100%を下回っているため、効率化の推進など、経常費用の削減を図ります。

企業債残高対事業規模比率は、類型団体と比較すると、下回っている一方で、管渠整備の投資を行い企業債残高が増加したため、前年度より19.73ポイント増加しています。

経費回収率は、類型団体と比較すると、上回っている一方で、前年度より有収水量が減少したことに加え、9.15ポイント減少しています。

汚水処理原価は、類型団体と比較すると、下回っていることに加え、前年度より5.18ポイント減少しており、更なる投資の効率化などの経営改善を図っていく必要がある。

施設利用率は、類型団体と比較すると、上回っており施設は適正規模である一方で、一日平均排水量が減少したことにより、0.1ポイント減少しています。

水洗化率は、類型団体と比較すると、上回っており、前年度より1.13ポイント増加し、施設の稼働が収益につながっているといえます。

2. 老朽化の状況について

管渠の更生等は行っておりませんが、断続的かつ定期的にTVカメラ等を用い、管渠の老朽化点検を行っているため、結果に応じて更生管等で老朽化対策を実施します。

全体総括

本町の公共下水道事業は、類型団体と比較すると、経費回収率など「経営の効率性」に関する経営指標及び「施設の効率性」に関する経営指標は平均値を上回っている一方で、収益的収支比率が低いことがわかります。

今後も、厳しい経営環境となりますが、維持管理費用の削減や更新等に充てる財源が確保できるか等を確認し、効率的かつ適正な下水道事業を運営し、更なる町民サービスの向上を目指します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。